



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

済生みと

No. **27**
2017
Summer

特集 整形外科の診療紹介

Pickup

アドバンス助産師とは？



写真 整形外科を担う9人の医師。右から4人目が生澤義輔副院長。
6人目が野村真船整形外科主任部長。

私達は 患者さんの悩み、苦しみに共感し
安全に十分に配慮しながら、良質の医療を提供します

今一番増加している大動脈瘤の治療と予防

水戸済生会総合病院

副院長（心臓血管・呼吸器外科）

倉岡 節夫



もし万一大動脈瘤になったら

大動脈瘤とは、心臓からつながる胸と腹の最も太い血管、大動脈にこぶができる病気です。血圧が高いと、まるで焼いた餅のように急にこぶが膨れて破れたり、大動脈の壁にさけ目が走り、脳やおなかの大事な血管が途切れて、死に直面する危険な状態に陥ってしまいます。不幸にも前兆は全くありません。発病すれば耐え難い苦痛の中、救急車で病院に運ばれたらすぐに手術しないと命が助かりません。心臓血管外科と救急、麻酔、放射線、輸血、ME、手術室、ICUのスタッフが迅速に連携対応し、たとえ深夜でも2時間以内に手術を開始します。

一昔前まで胸の大動脈瘤の手術は、人工心臓をつけてヒトの心臓を2～3時間止めたうえ、冷凍人間のように体温を20℃位に冷却して人工血管を移植する方法しかありませんでした。当然手術の危険も高く助からないこともありました。しかし今は、A型解離という一部の形を除けば、胸や腹を切開することなく、足の付根の股動脈からすばめたバネ付き人工血管（ステントグラフト）を挿入する方法で治療でき、負担も軽く輸血も不要です。80歳以上、時には90歳の御年配も、家族と離れて暮らす一人暮らしの方も、多少認知症があっても、手術を受けてリハビリをすれば早期に元の生活環境に戻れます。しかし発病後生死の淵から命がけの緊急手術を受けるより、普段の落ちついた状態で

手術を受けることが大切です。

大動脈瘤は予防できます

大動脈瘤は発病前は無症状ですが、原因として明らかなタバコを止め、受動喫煙も避け、検診や人間ドックを積極的に受診して、未病のうちに大動脈瘤を見つけることが大事です。今まで飲み薬だけで対処してきたB型解離も、早目にステントグラフトで治療すれば、将来こぶが膨れて破裂することを防ぐことが明らかになりました。大動脈瘤の発見は他の病気の検査や治療中に偶然みつかることも多いのです。みつかったてもまだ小さいうちは、血圧、コレステロール、糖尿の生活習慣病をしっかりと治療し禁煙しましょう。同じ家系に動脈瘤になった方が二人いたら相談して下さい。冬場の発病が多いが、室内の温度差の大きな夏場にも発病し、定期的な運動は予防に有効ですが、急な強い運動はダメ、フルーツ、野菜、全粒粉、脂肪の少ない肉、植物性蛋白を主とした健康的な食事が大切で、ストレスを忘れさせる趣味やリラクゼーションの方法を見つけましょう。

1年に1回でよいので、定期的な通院診療とCT検査を受ければ、動脈瘤の進行を抑え安心した毎日を過ごせます。手術後の暮らしは10年間病気の無い人と同様に保障されます。入院手術の費用が御心配な方は、医療福祉相談室が丁寧に対応し、済生会では種々の医療費の救済制度を提案いたします。



「第16回水戸医学生セミナーを開催」

7月28日と29日の2日間、当院丹野ホールなどを会場に水戸医学生セミナーを開催しました。

このセミナーは、県内外の医学生に水戸地域の充実した研修体制を知っていただき、当水戸地域での臨床研修を促すために当院と水戸協同病院が共催しているもので、今回で開催16回を数えるに至りました。

筑波大学はじめ県内外の大学から参加した医学生には、内科疾患の鑑別と救急現場での迅速な初期対応を主な内容として、大学の授業では体験しにくい内科と救急のエッセンスを学んでいただきました。

次回は、来春に開催の予定です。

詳しくは →

「水戸済生会総合病院臨床研修」タイトルのブログ及びfacebookサイトでご覧いただけます。

アドレス <http://ameblo.jp/mitosa-re/>



上：2日目に当院で行われたメディカルラリーでは、多数傷病者の出た事故現場など4つのシーンを設定。参加メンバーの真摯な対応に支援スタッフも心を動かされた様子でした。

下：今回は水戸市内の高校から、医学を志す生徒6人が見学参加。当院の医師などの補助説明に熱心に聞き入っていました。また、メディカルラリーにも随行参加。



ボランティアの皆さんのご支援で七夕会



7月5日、南館4階の病棟で「4南七夕会」が開かれました。短冊やキラ星で彩られた笹竹がロビーに飾られ、普段とは違う雰囲気にお患者さんやご家族もすっかりリラックス。職員とボランティアの皆さんが演じる手遊びや紙芝居などを大いに楽しんでおられました。



上左：当院でボランティア活動を続けておられる「野菊の会」の皆さんのパフォーマンス。

上右：七夕飾りの工作や団扇への模様入れなどは、お患者さん、ご家族との共同作業で。病棟看護師も和服姿で参加。

年間 1,300 件の手術症例

整形外科の取り組みを紹介します

脊椎、関節、外傷など幅広い領域で専門の医師が診療にあたっています

水戸済生会総合病院

整形外科主任部長 野村 真船



はじめに

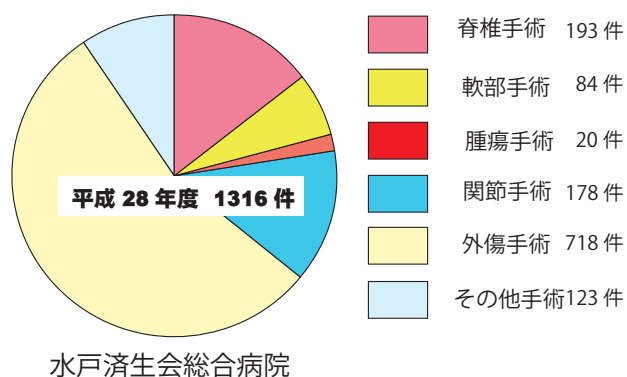
整形外科は現在医師 9 名で診療にあたっております。当院は厚生労働省の臨床研修指定病院であり、さらに整形外科は日本整形外科学会から専門医になるための研修施設としても認定されておりますので、幅広い整形外科疾患の全般にわたって高いレベルの診療を行うと同時に、若手医師の育成にも力を注いでいます。

整形外科が治療を行う範囲は、手・ひじ・肩などの上肢、足・ひざ・股関節などの下肢、くび・こし・骨盤などの脊椎と幅広く、骨や関節や筋肉や神経の病気を治療します。また当院は救命救急センターを持ち、ドクターカー、ドクターヘリを運営していることから重度の外傷患者の受け入れも行っており、整形外科が中心となって外傷患者の治療にあたっています。

当院の整形外科の特色としては、医師の専門領域に応じて診療グループを作ること、より高度で専門的な治療、手術を行っていることです。昨年度の整形外科の手術は全部で 1316 件と、大手術の多い総合病院としては県内でも有数の手術数です。

これから整形外科の各診療グループについてと、近年ふえている骨粗鬆症の患者様に対する整形外科のとりくみを説明いたします。

当院整形外科の年間手術症例件数



脊椎グループ

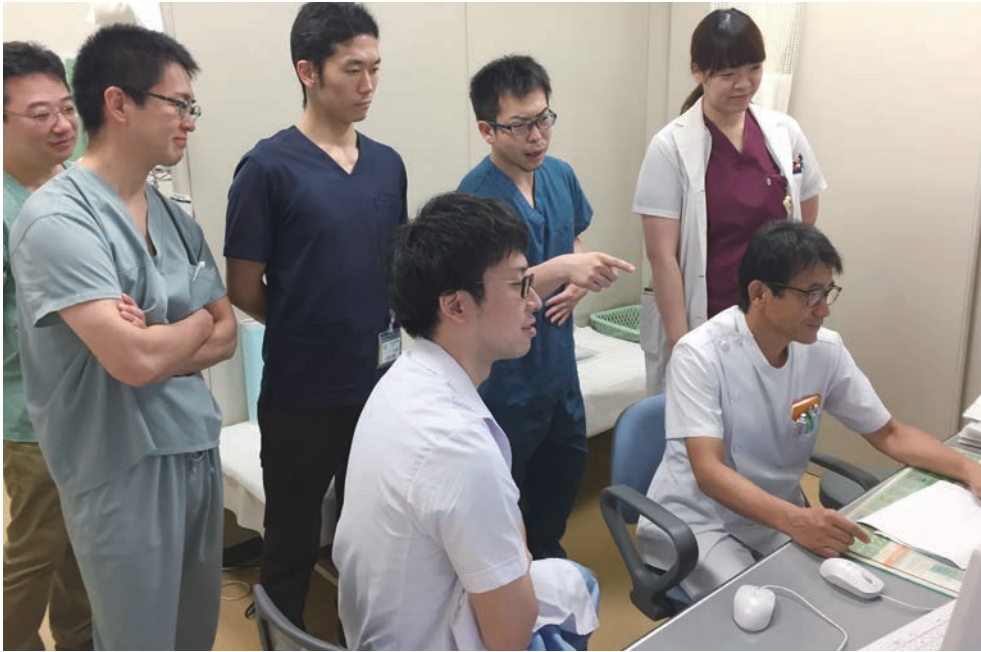
くび、こしなどの背骨のことを脊椎と言います。脊椎グループは、野村を中心にくびやこしの手術を行っています。症状がくびやこしの痛みだけの患者様にはくすりによる治療で痛みをやわらげていますが、手足のしびれが出てきたら手術が必要となることがあります。脊椎の手術は神経を扱う手術なので、手術によって神経の症状が悪化するという危険性ははらんでいます。最近は手術の傷を小さくするために内視鏡手術を行う施設が増えてきました。しかし内視鏡手術は技術的に難しいものですので、当院では手術の安全性を重視して従来からある一般的な切開手術を行っています。平成 27 年度には 251 例の脊椎手術を行い、他院ではできないような難しい手術にも対応しています。

下肢関節グループ

生澤を中心に股関節、膝関節の手術を多数行っています。高齢化の進行により、年齢とともに関節の変形が進行して痛みを出す変形性関節症の患者が増えてきましたが、当院では人工関節手術を毎年 100 例程度行っており、安定した結果を出しています。最近は 80 歳以上でも「痛み無く生活したい」「趣味の登山を続けたい」など、生活の質を保ちたいと考える方が多くなっています。当院は内科、外科などすべてそろった総合病院ですので、内臓の病気を合併している高齢の患者様に対しても、全身的な管理をしながら安全に手術を行うことが可能です。また生澤は J リーグのアルビレックス新潟のチームドクターを 20 年に渡って務めており、スポーツによる膝関節のけがも専門としています。

外傷グループ

秋山をリーダーとして若手医師が中心となって対応しています。平成 27 年度に救急車、ドクターカー、ドクターヘリで当院に搬送された整形外科患者は 585 人おり、そのほとんどは外傷すなわち“けが”をした患者様です。整形外科ではいつも交代で外傷担当医を決めておりますので、緊急時に対応できる医師がいけないという事態が無いようなシステムを作っています。他院から紹介で来られる方や、直接外来に来られる方に対しても外傷担当医がなるべく迅速



毎日、早朝から外来診察開始までの時間は、医師全員と整形外科を担当するスタッフでの症例カンファレンスに充てられます。外来で受診されている患者さんや入院治療中の患者さん一人ひとりについて主治医が病状や治療方針を報告し、治療の現況を検証しながらそれぞれの立場から意見を出し合って、患者さんに適時・適切な診療を提供できるよう万全を期しています。

に診察するようにしています。外傷で手術が必要な患者様はほとんどが骨折の方ですが、昨年度の外傷手術は合計 718 件でした。

リウマチグループ

関節リウマチは全身の関節がはれて、骨が壊れる原因不明の病気です。当院では日本整形外科学会リウマチ専門医の生澤を中心に、関節リウマチの患者様の薬物療法と手術療法をどちらも行います。近年関節リウマチの薬物療法が飛躍的に進歩しましたが、今でもリウマチで骨が壊れて歩けなくなる人は後を絶ちません。われわれは当院のリウマチ内科医だけでなく、近隣のリウマチ内科医とネットワークを作り、手術が必要なリウマチ患者様を紹介いただき、手術が終わったらまた元の病院に戻っていただくという方針で手術を行っています。

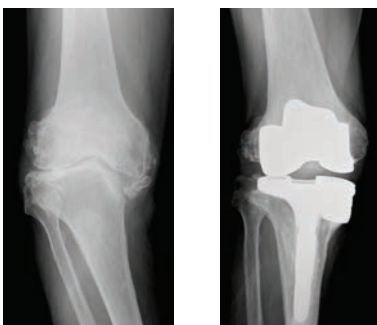
骨粗鬆症に対する取り組み

人はだれでも年をとるにつれて骨がもろくなりますが、つまづいて転んだ程度で骨が折れるような状態を骨粗鬆症と言います。高齢化にともない骨粗鬆症の患者様は急増しており、当院では骨粗鬆症のために発生した大腿骨骨折で入院、

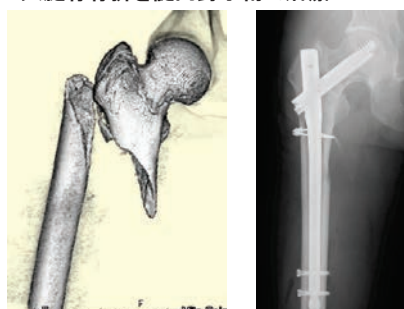
手術を必要とする方が年間 200 人ほどおられます。大腿骨骨折の手術を受けた後は歩くためのリハビリが必要ですが、現在の総合病院ではリハビリのための長期入院ができませんので、近々のリハビリ専門病院と連携するネットワークをつくりました。手術は済生会で行い、手術後に全身が落ち着いたら転院して、リハビリは長く入院できる専門病院で行うという分業システムです。このシステムが軌道に乗ったことにより、済生会のベッドが満床のために新しい骨折の患者様を受け入れられないという事がなくなりました。

骨粗鬆症のために骨折をした人は、2 度、3 度と骨折を繰り返すことがわかっています。これをくいとめるためには、一度でも骨粗鬆症による骨折をした人には骨粗鬆症の治療薬を飲んでもらう必要があります。しかし、実際は病院を退院してしまうと、骨粗鬆症の薬を飲まなくなる人が多いのです。退院後もずっと骨粗鬆症の薬を飲んでもらい骨折を繰り返さないようにするために、医師と看護師とリハビリの連携、また病院と診療所の連携をふかめて、病院を退院した後の患者様が 2 度と骨折をおこさないように働きかけていきたいと思っています。

変形性ひざ関節症を人工ひざ関節置換術で治療



大腿骨骨折を髓内釘手術で治療



手首の骨折をプレート固定で治療



当院では現在 14 名の
アドバンス助産師が活
動しています。従来の
助産師の業務に加え、
正常分娩の取り扱いや
育児支援などを独自に
担当しています。
右写真前列中央は榎谷
厚子看護部長、同左端
が筆者。



15 名のアドバンス助産師が誕生しました！

総合周産期母子医療センター 課長 齋藤 悦代



「アドバンス助産師」
は、認証マークのバッ
ジを襟元につけて活
動しています。妊産
婦の悩み、子育て、
母乳相談等について、
いつでも遠慮なく
お声をかけてくださ
い。

アドバンス助産師とは、自律して助産実践
ができる助産師として日本看護協会から認証
を受けた助産師です。妊産婦に対して心身
共にサポートができ、正常分娩の取り扱いが
できること、また、母児が健やかにすごせる
よう様々な支援ができる助産師です。

日本看護協会では、助産師の評価のための
ツールとして「助産師実践能力習熟段階（ク
リニカルラダー）」を開発し、その中で設定さ
れている基準によりアドバンス助産師の認証

を行っています。全国で統一された評価基準
で認定されているため、地域によって差が出
ることはありません。

水戸済生会総合病院では、平成 28 年度に
10 名、平成 29 年度には 5 名のアドバンス
助産師が誕生しました。当院には、院内助産
システムがあり、助産師による外来やお産を
行っています。一生の中での大切な瞬間に立
ち会わせていただき、安心・安全に分娩がで
きるよう看護ケアの提供をしています。



アドバンス看護師による乳房外来診察。院内助産・助産外来
などで専門性を発揮するなど、妊娠期から子育て期までの切
れ目のない支援が期待されます。

アドバンス助産師は、次のような評価レベルを達成
しています。

1. 入院期間を通して、責任をもって妊産婦・
新生児の助産ケアを実践できる
2. 助産外来において、個別性を考慮したケアを
自律して提供できる
3. 助産外来において、指導的な役割を実践できる
4. 院内助産において、自律してケアを提供できる
5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる

「認知症」をテーマとした講演会のご案内

市民公開講座 参加費無料

「目で見てわかる認知症」—認知症を知るために—
公演 認知症ケア研究所「劇団 いくり」

平成 29 年 8 月 26 日（土） 午前 10 時から 11 時 30 分
水戸済生会総合病院 新館 5 階 丹野ホール

一般の方を対象とした、わかりやすい内容の講座です。
事前の申し込みは必要ありません。直接会場におい
てください。当日は、本館の正面玄関から入ること
ができます。自家用車で来院の方は、この講座へ参
加される方のみ当院駐車場を無料で利用できます。

安心して受診できる眼科医院

当院は、平成 28 年 11 月 21 日に開院したばかりの眼科クリニックです。水戸市堀町で、介護付き有料老人ホーム「ローズヴィラ水戸」の近くにあり、比較的新しい県道 113 号線に面しています。便数は、少ない路線ですが、茨城交通バスの堀十文字バス停下車 1 分の所にあります。一日に何台も水戸済生会病院へ向かう救急車が、目の前を通過して行きます。水戸済生会病院が、近くなのだ、と毎日実感すると共に、あれだけの数の救急車を受け入れている、救命救急センターのスタッフの方々の奮闘努力が眼に浮かび、感謝の念で一杯になります。

当院は、手術機器、レーザー光凝固装置および眼底造影装置がないため、眼科一般検査で、上記の医療機器が必要な患者さんは、主に水戸済生会病院の眼科に FAX で予約を取った上で、受診して頂きます。そして、加畑副院長（眼科責任者）から、丁寧なお返事と適切な処置を受けた後、当院にて継続治療を行っています。たいへん整った水戸済生会病院の病診連携体制の恩恵を受けて、高度な診療のレベルを保っています。また、毎月 1 回開催される、水戸済生会病院の病診連携勉強会で、眼科だけではなく各科の先生方と一緒に勉強させて頂いています。今後とも、宜しくお願い致します。

外来受付

曜 日	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30 ~ 11:30	○	○	○		○	○	
午後 14:00 ~ 17:00	○	○	○		○		

休診日 木曜 日曜日 祝日
* 土曜日午後は休診



勝又眼科クリニック

院長 勝又 俊二 先生

日本眼科学会 眼科専門医 医学博士（東北大学）

診療科目 一般眼科 小児眼科
眼鏡処方 コンタクトレンズ処方

〒310-0903 水戸市堀町 1363-1

TEL 029-284-1122 H・P <http://www.katsumata-ganka.com/>



当院連携医療機関の先生方との合同症例検討会

当済生会新館 5 階 丹野ホールにて 原則午後 7 時開会
* 生涯教育講座参加証を発行しています。（1 月・5 月休会）

■ 29 年 9 月～ 11 月の予定 9 月 13 日(水) 9 月のみ 19:15 開会 10 月 4 日(水) 11 月 1 日(水)

直近過去 3 回の検討症例等の内容（平成 29 年）

開催日	検討症例・レクチャーテーマ等	講師・演者
6 月 7 日	「確定診断前のメトロニダゾール（MNZ）投与が奏功したアメーバー性肝膿瘍の一例」	研修医 佐藤 良晃
	「小児期ヘリコバクター・ピロリ感染症の診断と治療」	小児科 工藤 豊一郎
7 月 5 日	「門脈ガス血症を来した PEG（Percutaneous Endoscopic Gastrostomy）造設患者の一例」	外 科 貝塚 博行
	「健診・検査における eGFR の診断について ～慢性腎臓病 病診連携～」	腎臓内科 海老原 至
8 月 2 日	「AMI が疑われた化膿性脊椎炎の一例」	整形外科 鞠子 皓一
	「一般医家における排尿障害の見方・扱い方」	泌尿器科 宮永 直人

外来診療のご案内

◆ 平成 29 年 8 月 1 日現在

診療科			月	火	水	木	金
内 科 受付 (8:30 ~ 11:30)	初診		青木 (消化器) 柏村 (消化器) 樋口 (循環器)	郡司 (腎 臓) 櫻井 (消化器) 山田 (循環器)	岩瀬 (腎 臓) 大川原 (消化器) 石橋 (循環器)	千葉 (循環器) 渡辺 (消化器) 大平 (循環器)	佐藤 (腎臓) 隔週 宗像・金野 (消化器) 川松 (循環器)
		午前	山田 (循環器) 櫻井 (消化器) 村田 (循環器) 海老原 (腎臓)	仁平 (消化器) 長山 (血 液) * 予約のみ 青木 (消化器) 大平 (循環器) 椎名 (腎 臓)	渡辺 (消化器) 金野 (消化器) 仁平 (消化器) 千葉 (循環器) 海老原 (腎臓)	大川原 (消化器) 宗像 (消化器) 石橋 (循環器) 佐藤 (腎 臓)	柏村 (消化器) 長山 (血 液) * 予約のみ 萩原 (膠原病) 樋口 (循環器) 郡司 (腎 臓)
	再診	午後	第 1,2,4,5 川松 (循環器)	後藤 (循環器)	會澤 (循環器)	前村 (循環器)	川原 (循環器)
		予約制	第 3 堀米 (成人先天性心臓病外来)	隔週 山口 (腎臓) ICD (循環器)		山本 (消化器)	
			腹膜透析外来	腹膜透析外来			
外 科 受付 (8:30 ~ 10:30)	初診	午前	田野井	杉	朴	東	貝塚
		午後	高久	朴		高久	東
	再診	午後	予約			高久	東
			禁煙外来は予約制。予約は 15 時 ~ 16 時 30 分、診察時間は 13 時 30 分 ~ 15 時 30 分。				(第 2・第 4 禁煙外来)
心臓血管外科 呼吸器外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	1 診		倉持	倉岡	篠永	(休診)	三富
	特診						第 2・4 金曜 筑波大学呼吸器外科 教授 佐藤幸夫
小児科 受付 (8:30 ~ 11:30) 予約は慢性疾患のみ	初診	午前	内谷	工藤	内谷	工藤	内谷
	再診	午後		(健診、予防注射、予約制) 健診受付 (14:00 ~ 14:30) 予防接種受付 (14:30 ~ 15:00)	内谷 (予約制)		内谷 (予約制)
整形外科 受付 (8:30 ~ 11:00)	1 診	午前	秋山	鞠子	藤川	岩瀬	藤川
	2 診		須藤	野崎	岩瀬	須藤	鞠子
	3 診		野村	生澤	野村	秋山	生澤
	初診は紹介状持参の方、当院で入院・手術をされた方、1 年以内に当院受診のある方のみ。						
	午後		生澤 (関節外科)			野村 (脊椎外科)	
			午後は 15:00 ~ 16:00 まで。いずれの曜日でも予約制。				
形成外科 受付 (8:30 ~ 11:30) 午後 (15:00 ~ 16:00)	初診	午前	担当医	担当医	第 1,3,5 今井	今井	担当医
	再診		芳賀	芳賀 (第 4 中山)	第 2,4 佐々木		芳賀
	午後		(手術)	今井 (再診のみ)	(手術)	(手術)	担当医
脳神経外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	1 診	午前	森	森	井口	井口	森
	2 診		井口			渡辺	関根
	午後					早野 (13 時 ~ 15 時)	
皮 膚 科 受付 (8:30 ~ 10:30)	1 診	午前	神崎	神崎	手術	神崎	神崎
	2 診		山田	山田		大矢	
	午後		手術・レーザー (予約)	手術	手術・レーザー (予約)	手術・レーザー (予約)	手術・レーザー (予約)
泌尿器科	1 診	午前	池田	宮永	松本	宮永	宮永
	2 診			福原	福原	松本	
受付 月・金曜日 (8:30 ~ 10:30)			火・水・木曜日 (8:30 ~ 11:00)				
産婦人科 受付 (8:30 ~ 11:00)	初診予約外		交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
	産科	午前	藤木	加藤	山田	中村	人見
	婦人科		第 1,3,5 人見 第 2,4 施	益田	加藤	山田	第 1,3,5 須藤 第 2,4 児玉
	午後		(自己血治療) 佐藤	(自己血予備日) 益田	児玉	(胎児・遺伝) 藤木	(1 カ月健診) (1 カ月健診)
眼 科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前		加畑	加畑	佐藤	加畑	佐藤
	午後		佐藤	守屋	田崎	佐藤	守屋
耳鼻咽喉科	午前 (8:30 ~ 11:00)		尾田	田中	担当医	宮部	宮部
	午後 (14:00 ~ 15:30)		尾田	田中	担当医		宮部
ペインクリニック 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前		佐藤		大久保		奥山
	初診は、紹介状持参の方、当院 1 年以内に受診のある方のみ。						
歯科口腔外科	午前 (8:30 ~ 11:00)		武内・飯島	武内・飯島	武内 (第 1,3,5)・飯島	武内・飯島	武内・飯島
	午後 (13:30 ~ 15:00)			武内 (予約)・飯島	武内 (予約)・飯島	手術日/初診変更の場合有り	
放射線科	血管内治療	予約制	遠田 (不定期)	橋本		唐澤 (不定期)	
	放射線治療						
緩和ケア診療科	14:00 ~ 16:00			吉村	斉藤	吉村	斉藤
	(完全予約制)		(予約制) 予約は緩和ケア外来 → 病棟 電話 029-254-9165 (直通) まで				

■ 専門科の救急対応、緊急手術などにより、担当医師・診療時間を予告なく変更する場合があります。

■ 診療についての詳細は当院ホームページをご覧ください。 (<http://www.mito-saisei.jp>)